

西日本インカレ（合同研究会）2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報に記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）オオサカショウギョウダイガク	フリガナ）ソウゴウケイエイガクブ	フリガナ）ナカシマゼミ
大阪商業大学	総合経営学部	中嶋ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ）オールウェイズ	フリガナ）ヒトミ ジュンペイ	4人	無
Always	人見 純平		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）

研究テーマ（発表タイトル）

着地型観光で地方を活性化させよう

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

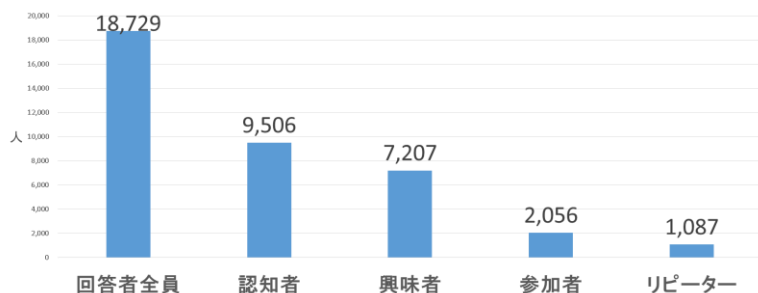
1. 研究概要（目的・狙いなど）

日本では、毎年人口が減少しており、特に地方で深刻である。そこで現在注目されている訪日外国人観光客をより地域に集め、消費活動を促す工夫が必要である。その手段として我々は、着地型観光に焦点を当てた。訪日外国人が着地型観光に参加することで、地域活性化につなげることが目的である。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

着地型観光とは、着地側である地域が独自の観光資源をもとに企画・運営し旅行商品や体験プログラムを広告して観光客を地域に集める観光である。観光と言えば旅行会社が企画・運営する発地型が一般的であるが、着地型は旅行の個人化によるニーズの多様化に適応するため、地域が独自の資源をもとに知恵を出し企画・運営する手法である。着地型観光は観光地域づくりを促進するほか、自主財源の確保や地域の担い手育成、新しい観光素材を掘り起こすことから地域活性化につながると考えられる。

しかし現状、着地型観光に興味を持つ方は認知者の 7 割 2 分と多いが、参加者は興味者の 3 割程度と少ない。その主な理由としては、参加の判断材料となる情報の不足などである。



国土交通省観光庁 「着地型旅行市場現状調査報告」 (平成 23 年度調査)

3. 研究テーマの課題

日本の人口減少や経済衰退を抑えるためには、各地域の活性化が不可欠である。そのためには現在注目されている訪日外国人観光客をより地域に集め、消費活動を促す工夫が必要である。しかし未だに訪日外国人観光客は特定の地域を観光場所として注目する傾向にある。そこで我々は着地型観光を推薦するが、日本人の着地型観光の参加者が興味者から 7 割 2 分離反している。この潜在する参加者を着地型観光に参加させ地域を活性化するための広告を考える。

4. 課題解決策 (新たなビジネスモデル・理論など)

地域活性化を促すために、**着地型観光**をまず研究した。そして、研究した結果日本人観光客にはガイドブックなどで広告し、認知度を上げる。また、外国人観光客には SNS などを使って広告し、認知度を上げ、アニメや漫画などのサブカルチャーをつかった観光プランを作るのが効果的。

5. 研究・活動内容 (アンケート調査、商品開発など)

まずは近畿圏内で財政面・人口面において問題を抱えている和歌山県をターゲットとした。そこで着地型観光を企画されている「わかやま旅案内所」福居様に着地型観光に対する現状や意識、訪日外国人観光客の現状をお伺いした。

そこで、わかやま旅案内所様が行われた企画の一つである「コスプレツアー」が日本人観光客に人気であることが分かった。しかしその企画には訪日外国人観光客は参加されていなかった。したがって訪日外国人観光客はコスプレに興味があるのか調べる。ターゲットは大阪府内の語学学校に通学されている外国人留学生とし、日本のアニメや漫画などのサブカルチャーへの興味をアンケート調査した。

6. 結果や今後の取り組み

訪日外国人観光客を地方に集めるため、着地型観光が適切ではないかと提案した。しかし日本人観光客が着地型観光に参加していない現状から、訪日外国人観光客は来ないのではないかと考える。したがって私たちは、ターゲットとして日本人観光客を着地型観光に集客することを目標とした。

そして日本人観光客は SNS を観光の参考としない傾向にあることが分かった。そこで着地型観光の情報発信をガイドブックやパンフレットなどを作成し積極的に情報発信することが日本人観光客には適切だと考える。

また、その後訪日外国人観光客を呼ぶために、ニーズ調査を行い、アニメや漫画にニーズがあることがわかった。

今後の取り組みとしては、ニーズ調査の結果を用いた観光プランの提案や、着地型観光のガイドブックの作成を考えている。

7. 参考文献

- 『観光ビジネス未来白書 2017 年版』 加藤弘治 同友館 (2017/4/7 出版)
- 『地方創生を可能にする まちづくり×インバウンド 成功する「7つの力」』 中村好明 朝日出版社 (2016/10/13 出版)
- 『沸騰するインバウンド市場攻略ガイド 訪日外国人観光ビジネス』 村山 慶輔 翔泳社 (2015/2/3 出版)
- 『リピーターづくりのしかけ厳選 30』 鎌田博次 すばる舎 (2011/11/19 出版)
- 『平成 28 年度版 観光の実態と志向』 公益社団法人 日本観光復興教会 (2017/03 出版)
- 日本政府観光局 HP <http://www.jnto.go.jp/jpn> (2017/5/30 閲覧)
- 国土交通省観光庁 HP <http://www.mlit.go.jp/kankocho/> (2017/10/20 閲覧)
- 総務省 HP <http://www.soumu.go.jp/> (2017/6/13 閲覧)
- 和歌山県商工観光労働部観光局観光復興課 HP
<http://www.pref.wakayama.la.jp/prefg/062400/index.html> (2017/7/25 閲覧)
- 日本経済新聞 「訪日外国人、『日本に行くなら東京』の割合低下」 (2017/10/6 記載)
- 「観光客視点からの着地型観光の課題と考察」 東洋大学大学院国際地域学研究所 才原清一郎氏 日本国際観光学会論文集 (第 22 号) (2015/03 記載)

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、翌年 3 月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HP などに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず使用するツール名をご記入ください。企画シートにご記入が無い場合は、発表当日の使用はできません。あらかじめご了承ください。

↑ここまでを 4 ページ以内に収めて、提出してください↑